

問1 日本が主要な輸入先である西アジアから石油を運ぶ海上ルートにおいて、マレー半島とスマトラ島に挟まれた、海上交通の要所となっている海峡の名称を選択肢から選びなさい。（2023年 福井公立入試 類似）

1. マラッカ海峡 2. ホルムズ海峡 3. ドーバー海峡 4. ボスポラス海峡

問2 東南アジアや中国南部などの1年を通じて温暖な地域で見られる、同じ農地に1年のうちに2回、同じ作物（主に稲）を栽培する農業形態を何と呼びますか。（2020年 佐賀公立入試 類似）

1. 二期作 2. 二毛作 3. 促成栽培 4. 輪作

問3 東アジアの諸国の中で、2020年代の統計においてインターネット利用率が約97%ときわめて高く、主な輸出商品に機械類や自動車が含まれ、かつ輸出入のいずれにおいても中国が最大の貿易相手国となっている国はどこか、名称を答えなさい。（2024年 山梨公立入試 類似）

1. 大韓民国 2. インド 3. オーストラリア 4. メキシコ

問4 夏の南アジアでは、インド洋から湿った風が吹き込みます。この風が北部に位置するヒマラヤ山脈にぶつかることで、山脈の南側にあたる地域ではどのような状況が生じますか。（2023年 熊本県公立入試 類似）

1. 湿った空気が山に沿って上昇し、世界有数の降水量となる 2. 山を越えた乾燥した風が吹き下ろし、広大な砂漠が広がる 3. 海からの冷たい風の影響で、夏でも気温が氷点下になる 4. 上昇気流が抑えられ、一年を通じて全く雨が降らなくなる

問5 インドのIT産業は、アメリカ合衆国のシリコンバレーなどの企業と密接に連携して発展してきました。インドとアメリカ合衆国の間にある「約12時間の時差」を活かした業務運営の仕組みとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 富山公立入試 類似）

1. アメリカの企業が業務を終える夜間に、インド側で作業を継続することで、24時間体制の効率的な開発を行う仕組み 2. アメリカとインドで常に同じ時刻に会議を行うことで、意思決定のスピードを極限まで高める仕組み 3. 時差による気温の変化を利用して、サーバーなどの精密機器を冷却するコストを大幅に削減する仕組み 4. 日付変更線をまたがない位置関係を利用して、リアルタイムの金融取引を24時間中断せずに行う仕組み

問6 インドの北部から東部にかけて流れる河川について、ヒマラヤ山脈からの豊かな水によって広大なヒンドウスタン平原を形成し、最終的にベンガル湾へと注ぐ大河の名称として正しいものを選びなさい。（2025年 岐阜公立入試 類似）

1. ガンジス川 2. インダス川 3. ブラマプトラ川 4. ナイル川

問7 中国政府が2010年代以降、長年続けてきた人口抑制のための厳しい制限を段階的に緩和し、現在ではすべての夫婦に3人までの出産を認めるなど政策の見直しを行っている主な理由は何ですか。（2024年 福島県公立入試 類似）

1. 生産年齢人口の減少や、社会保障制度の維持が困難になる懸念が生じたため 2. 食糧生産技術が向上し、人口が増えても食糧不足に陥る心配がなくなったため 3. 都市部への人口集中を解消し、農村部の労働力を確保する必要があるため 4. 周辺諸国からの人口流入が止まり、国内の総人口が急激に減少し始めたため

問8 世界の国々の統計を示した資料において、人口が13億人を超えていながら、国内総生産（GDP）の総額がドイツを下回っている国があります。この国の経済的特色について、一人あたりのGDPと第3次産業人口の割合という2つの視点から述べた説明として、正しいものはどれですか。（2022年 秋田県公立入試 類似）

1. アメリカやドイツと比較して、一人あたりのGDPが低く、第3次産業に従事する人口の割合も低い位置にある。 2. 人口が非常に多いため、一人あたりのGDPはドイツより高いが、第3次産業人口の割合は世界でも低い部類に入る。 3. 先進国に近い経済構造を持っており、一人あたりのGDPが高く、第3次産業人口の割合が第2次産業を大きく下回っている。 4. 一人あたりのGDPは世界平均を大きく上回っているが、依然として第1次産業が中心であるため、第3次産業人口の割合は極めて低い。

問9 フィリピン、ノルウェー、日本の3か国の発電方法別発電量を比較した統計において、フィリピンは地熱による発電量が約104億キロワット時と、他の2か国に比べて際立って高い数値を示しています。フィリピンにおいてこのように地熱発電が盛んな理由として、最も適切な背景を選びなさい。（2022年 岡山公立入試 類似）

1. 環太平洋造山帯に属しており、国内に多くの火山が分布しているため 2. 赤道に近い低緯度に位置し、年間を通じて日照時間が長いため 3. 偏西風の影響を強く受ける地域であり、安定した風力が得られるため 4. 氷河によって削られた急峻な地形が多く、水力を利用しやすいため

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>マラッカ海峡</b>	マレー半島とスマトラ島の間にあるこの海峡は、インド洋と太平洋（南シナ海）を結ぶ最短ルート上に位置しています。日本が西アジアから輸入する石油の大部分を載せたタンカーがここを通過するため、日本の経済にとって極めて重要な「シーレーン（海上交通路）」の一部となっています。
問2	<b>答え 1</b> <b>二期作</b>	温暖な気候と豊富な降水量を活かし、1年の間に同じ土地で同じ作物を2回育てる方法を二期作といいます。アジアの米作りが盛んな地域、特に中国南部や東南アジアの河川流域などで広く行われています。これに対し、米と麦のように異なる種類の作物を1年のうちに同じ土地で育てることは二毛作と呼ばれ、明確に区別されます。
問3	<b>答え 1</b> <b>大韓民国</b>	大韓民国は1970年代以降、急速な工業化を遂げてNIEs（新興工業経済地域）の一角として発展しました。現在は情報通信技術（ICT）の普及が非常に進んでおり、世界トップクラスのインターネット利用率を誇ります。産業構造としては、半導体などの電子機器を含む機械類や自動車が主要な輸出商品となっており、地理的に近く経済的結びつきが強い中国が最大の貿易相手国となっています。
問4	<b>答え 1</b> <b>湿った空気が山に沿って上昇し、世界有数の降水量となる</b>	インド洋から吹く夏の季節風（モンスーン）は、大量の水蒸気を含んでいます。この湿った空気が高いヒマラヤ山脈に突き当たって強制的に上昇させられることで、発達した雨雲が作られ、山麓の地域には非常に激しい雨が降ります。
問5	<b>答え 1</b> <b>アメリカの企業が業務を終える夜間に、インド側で作業を継続することで、24時間体制の効率的な開発を行う仕組み</b>	インドとアメリカ合衆国は地球のほぼ反対側に位置しており、約12時間の時差があります。この地理的条件を逆手に取り、アメリカの営業終了時に作業データをインドへ送り、インドの昼間に開発を進め、翌朝のアメリカに成果を戻すというサイクルが確立されました。これにより、ソフトウェア開発などの分野で1日24時間をフル活用した効率的な運営が可能になり、インドのIT産業成長の大きな要因となりました。
問6	<b>答え 1</b> <b>ガンジス川</b>	インド北部に位置するヒンドゥスタン平原は、ガンジス川の堆積作用によって形成された広大な沖積平野です。この河川はヒマラヤ山脈を水源とし、インド北部を東に向かって流れ、ベンガル湾を経てベンガル湾に注ぎます。西部のパキスタン側を流れるインダス川との位置関係を区別することが重要です。
問7	<b>答え 1</b> <b>生産年齢人口の減少や、社会保障制度の維持が困難になる懸念が生じたため</b>	急速な少子高齢化の結果、工場や建設現場などで働く若い労働力が不足し、経済成長を阻害する要因となっています。また、少なくなった現役世代が高齢者の年金や医療費を支えきれなくなるという将来的なリスクを回避するため、政府は出産を奨励する方向へと舵を切りました。
問8	<b>答え 1</b> <b>アメリカやドイツと比較して、一人あたりのGDPが低く、第3次産業に従事する人口の割合も低い位置にある。</b>	人口が13億人を超え、GDP総額がドイツより低いというデータは、インドの経済規模と効率性を示しています。一人あたりのGDP（横軸）と第3次産業人口割合（縦軸）をグラフにした場合、インドは先進国（アメリカやドイツなど）に比べて数値が小さく、グラフの原点に近い場所に位置します。これは、経済のサービス化（第3次産業化）や国民一人ひとりの所得水準が、発展途上の段階にあることを裏付けています。
問9	<b>答え 1</b> <b>環太平洋造山帯に属しており、国内に多くの火山が分布しているため</b>	フィリピンは日本と同様に環太平洋造山帯に位置しており、地形的な特徴として火山が非常に多く分布しています。この火山の熱エネルギーを直接利用する地熱発電は、天候に左右されず安定した電力を供給できる再生可能エネルギーとして、フィリピンの電力供給において重要な役割を果たしています。なお、選択肢にある「氷河による地形」はノルウェーなどの特徴であり、そちらでは水力発電が主流となっています。